	州丁業高	等専門学権	交	 開講年度	令和06年度	(2024年度)	授業科	目アジアダ			
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		7.5713 1 2	Is the c T /2	(===: + /~)	122111		( )		
科目基礎情報 科目番号 0097						科目区分	科目区分   一般 / 必修				
授業形態		3037						<u>/ 必修</u> 単位: 1			
			fインT:		システムコーマ)	対象学年					
開設期			生産デザイン工学科(情報システムコース) 後期			週時間数	2				
教科書/教	林才		で資料を	 配布する。		ACE-0103XX					
担当教員			友里,木本								
到達目		10.5. 12		. 34.24							
表現方法 作品の内 作品に対 他者の意	を学び、自容や背景を 容や背景を する意見な 見を理解し、	らの心情をえ 読み取ること どを論理的な	表現する とができ な文章と	ことができる	とができる。						
ルーブ!	リック										
			理想	則な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レイ			未到達レベルの目安		
評価項目1			の言	葉で表現で		現できる。		現するこ	さまざまな表現を学び、心情を表現することができない。		
評価項目:	2		でき	<b>きる。</b>	組み立て、文章化 	ることができる。	論理的な文章をある程度組み立て ることができる。		論理的な文章を組み立てることが できない。		
評価項目3			を論	が意見を理 記明に説明	解し、自分の意見 できる。		他者の意見を理解し、自分の意見 を述べることができる。		他者の意見を理解し、自分の意見 を述べることができない。		
		頁目との関	4係								
教育方法	法等										
1~3年 ア文学) 論理的に			からさ 解釈す まえ反駁	まざまな表現 る力を養う。 する力、論理	見方法を学び、その さらに、ディベー 型的な文章を書く	の効果などを学習す ートやレポート等を 力に磨きをかける。					
授業の進	め方・方法	毎回テー 講義中.	-マに沿 <sup>.</sup> リアク.	った資料を問ションペール	記布し、それをも パー・グループワ	とに進める。 ーク等の学生主体で:	学ぶ時間を誤	ける。			
注意点		①複数四 ②文章を ③添削る	回の演習 を書く課題 された文章	課題やレポ- 題はできるた 章をよく見値	- トによって評価: こけ授業時間内に し、よりよい文:	 を行う。 什上げること。					
授業の	属性・履何	冬上の区々	7								
/		<u>シエッド.</u>	J'								
	ティブラーニ			ICT 利用		□ 遠隔授業対応	, ,	□ 実務	経験のある教員による授業		
☑ アクラ	•			ICT 利用		□ 遠隔授業対応	, ,	□ 実務	経験のある教員による授業		
☑ アクラ	•	ニング						1	経験のある教員による授業		
☑ アクラ	•						週ごとの到遺	童目標			
☑ アクラ	•	ニング		容			週ごとの到遺 講義の目的 論理的な文章	幸目標 ・概要・到達目様 うについて理解で	票を理解できる。 できる。		
☑ アクラ	•	週 1週 2週	授業内ガイダアジア	容 ンス の文学につい			週ごとの到道 講義の目的 論理的な文章 作品の概要 できる。	達目標 ・概要・到達目様 章について理解で (成立・形式・氡	票を理解できる。 できる。 長記など)を理解し、説明		
☑ アクラ	•	週 1週	授業内ガイダアジア	容ンス			週ごとの到述 講義の目的 論理的な文章 作品の概要 できる。 作品の展開を	室目標 ・概要・到達目相 章について理解で (成立・形式・記 を理解し、説明で	票を理解できる。 できる。 長記など)を理解し、説明 できる。		
☑ アクラ	画	週 1週 2週	授業内 ガイダ アジア アジア	容 ンス の文学につい	,\て②		週ごとの到過 講義の目的 論理的な文章 作品の概要 できる。 作品の展開を 作品を鑑賞してきる。	全目標 ・概要・到達目標 をでしいて理解でいて理解でいる。 ・成立・形式・気を理解し、説明で ・現解の視野が	票を理解できる。 できる。 <b>もまなど)を理解し、説明</b> できる。 いらの見解を述べることが		
☑ アクラ	•	週 1週 2週 3週	□ 授業内 ガイダ アジア アジア	容 シス の文学につ( の文学につ(	,\T(2) ,\T(3)		週ごとの到過 講義の目的 論理的な文章 作品の概要 できる。 作品の展開を 作品を鑑賞してきる。	全目標 ・概要・到達目標 うについて理解で (成立・形式・えを理解し、説明で し、独自の視野が	票を理解できる。 できる。 長記など)を理解し、説明 できる。		
☑ アクラ	画	週 1週 2週 3週 4週	授業内 ガイダ アジア アジア アジア	容 シス の文学につい の文学につい	,\T(2) ,\T(3) ,\T(4)		週ごとの到達講義の目的 講義の目的 論理的なな重 作品のの展開を 作品をる。 作品をる。 作品をる。 作品でもの概要さる。 作品の展開を	全目標 ・概要・到達目標 をでいて理解でいて理解でいる。 ・ では、説明でいて独自の視野がでは、 では、 では、 では では できます いっこう できます いっこう できます いっこう できます しい の でいま いっこう いっこう いっこう できます しい の でいま いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう	票を理解できる。 できる。 表記など)を理解し、説明 できる。 いらの見解を述べることが 表記など)を理解し、的確 こ説明できる。		
☑ アクラ	画	週 1週 2週 3週 4週 5週	授業内 ガイダ アジア アジア アジア アジア	容 シス の文学につ( の文学につ( の文学につ(	,\T(2) ,\T(3) ,\T(4) ,\T(5)		週ごとの到達講義の目的 講義の目的 論理的なな重 作品のの展開を 作品をる。 作品をる。 作品をる。 作品でもの概要さる。 作品の展開を	全目標 ・概要・到達目標 をでいて理解でいて理解でいる。 ・一般では、説明では、説明できる。 ・一般を理解し、説明できる。 ・一般を理解し、的確認を理解し、的確認し、独自の視野が	票を理解できる。 できる。 長記など)を理解し、説明 できる。 いらの見解を述べることが 長記など)を理解し、的確		
☑ アクラ	画	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	授業内 ガイダ アジア アジア アジア アジア アジア	容 プンス の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい	,\T(2) ,\T(3) ,\T(4) ,\T(5)		週ごとの到送講義の目的 講義の目的 論理的な数 作品をる。 作品をる。 作品をる。 作品を必 作品を数 作品を数 作品を数 作品を数 作品を数 作品を数 作品を数 で 作品で で に に の の の の の の の の の の の の の の の の	全目標・概要・到達目標をでして理解では、成立・形式・気を理解し、説明でし、説明でし、説明でし、説明でし、説明できる。	票を理解できる。 できる。 表記など)を理解し、説明 できる。 いらの見解を述べることが 表記など)を理解し、的確 こ説明できる。		
☑ アクラ	画	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	授業内 ガイダ アジア アジア アジア アジア アジア	容 プンス の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい	,\T(2) ,\T(3) ,\T(4) ,\T(5) ,\T(6)		週ごとの到途 講義理的な概要 作で品のでは、 作で品ののでは、 作では、 作では、 作では、 作では、 ののでは、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 できる。 では、 できる。 では、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	全目標・概要・到達目標をでして理解できた。 では、説明では、説明では、説明では、説明では、説明では、説明では、説明では、 説明では、 説明では、 説明では、 説明では、 説明では、 がっている。 では、 の では、 の では、 の では、 の で で に い の で に い の で い い の で い の	票を理解できる。できる。できる。できる。 を記など)を理解し、説明できる。いらの見解を述べることが を記など)を理解し、的確 に説明できる。		
☑ アクラ	画	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	授業内 ガイダ アジア アジア アジア アジア アジア	容 の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい トワーク	NT(2) NT(3) NT(4) NT(5) NT(6)		週ごとの到達講義の国際では、 講義の目的では、 作できるのでは、 作のでは、 作のでは、 作のでは、 作のでは、 作のでは、 にいいいでいいでは、 にいいでは、 にいいいでは、 にいいいでは、 にいいいでは、 にいいいでは、 にいいいでは、 にいいいでは、 にいいでは、 にいいいいでは、 にいいいいでは、 にいいいいでは、 にいいいいでは、 にいいいいでは、 にいいいでは、 にいいいでは、 にいいいでは、 にいいいで	全目標・概要・到達目標をでして理解できた。 では、説明では、説明では、説明では、説明では、説明では、説明では、説明では、 説明では、 説明では、 説明では、 説明では、 説明では、 がっている。 では、 の では、 の では、 の では、 の で で に い の で に い の で い い の で い の	票を理解できる。できる。できる。 できる。 長記など)を理解し、説明できる。 からの見解を述べることが 長記など)を理解し、的確 こ説明できる。 からの見解を論理的に述べ 復習をすることでさらな 長記など)を理解し、説明		
☑ アクラ	画	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	授業内 ガイダ アジア アジア アジア アジア アジア アジア アジア アジア	容 プンス の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい トワーク	NT(2) NT(3) NT(4) NT(5) NT(6) NT(7) NT(8)		週ごとの到遺講論理品きの目な概。展出をの明の名の目な概。展出をの明の名の形でのでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	全目標・概要・到達目標をでして理解できた。 では、説明では、説明では、説明では、説明では、説明では、説明では、説明では、 説明では、 説明では、 がない。 では、 の では、	票を理解できる。できる。できる。できる。 表記など)を理解し、説明できる。からの見解を述べることが 表記など)を理解し、的確 こ説明できる。 からの見解を論理的に述べ 復習をすることでさらな 表記など)を理解し、説明		
☑ アクラ	画 3rdQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	授業内 ガイダ アジア アジア アジア アジア アジア アジア アジア アジア	容 の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい	(NT(2) (NT(3) (NT(4) (NT(5) (NT(6) (NT(7) (NT(8) (NT(9)		週ごとの到遺講論作で作で作に作る 2る 作で作の に 保 の を るの を るの の を とって を の の を るの の を るの の を とって 解 の るの を とって 解 の るの を とって 解 の の を とって 解 の で に 品 き る の を る。	全目標・ ・概要・到達目標・ ・概要・到達目標( (成立・形式・ ・ 記明の ・理解しの視野が (成立・形式・ ・ 記号を理解した。 ・ と理解しの視野が ・ る。 ・ と理解しの視野が ・ る。 ・ ではからる。 ・ に成立・形式・ ・ を理解しの視野が ・ に成立・形式・ ・ にないでは、 ・ にないではないでは、 ・ にないでは、 ・ にないでは、 ・ にないでは、 ・ にないでは、 ・ にないではないでは、 ・ にないではないでは、 ・ にないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	票を理解できる。できる。できる。できる。 表記など)を理解し、説明できる。いらの見解を述べることが 表記など)を理解し、的確 こ説明できる。いらの見解を論理的に述べ 復習をすることでさらな 表記など)を理解し、説明できる。		
☑ アクラ	画	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	授業内 ガイダ アジア アジア アジア アジア アジア アジア アジア アジア	容 の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい	NT(2) NT(3) NT(4) NT(5) NT(6) NT(7) NT(8) NT(9) NT(10)		週 講義 作で 作で 作に 作る 2る 作で 作で 作に 作る 2る 作で 作で 作に 作る 2る 作で 作で 作の をる の明の をと 7解のるの をるの明の をと 7解のるの をるの明のをと 7解のるの をるの明で 展鑑が 週の 概。 展鑑。 概で 情質で が 過の定要 できる の明で まる の明でまる の明さる の明さる の明さる の明さる の明さる の明さる の明さる の明さ	全目標・ ・概要・到達目標・ ・概要・到達目標( (成立・形式・ ・ 記明の ・理解しの視野が (成立・形式・ ・ 記号を理解した。 ・ と理解しの視野が ・ る。 ・ と理解しの視野が ・ る。 ・ ではからる。 ・ に成立・形式・ ・ を理解しの視野が ・ に成立・形式・ ・ にないでは、 ・ にないではないでは、 ・ にないでは、 ・ にないでは、 ・ にないでは、 ・ にないでは、 ・ にないではないでは、 ・ にないではないでは、 ・ にないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	票を理解できる。できる。できる。できる。 表記など)を理解し、説明できる。からの見解を述べることが 表記など)を理解し、的確 こ説明できる。からの見解を論理的に述べ 復習をすることでさらな 表記など)を理解し、説明できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 からの見解を述べることが 表記など)を理解し、的確		
☑ アクラ 授業計Ⅰ	画 3rdQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	授業内 ガイダ アジア アジア アジア アジア アジア アジア アジア アジア アジア	容 プンス の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい	()T(2) ()T(3) ()T(4) ()T(5) ()T(6) ()T(7) ()T(8) ()T(9) ()T(10) ()T(10)		週講論作で作に作に作る2る作で作作で作に作る3の目な概。展鑑。概で展鑑が週の概。展鑑。概で展鑑が週の概。展鑑。概で展鑑が週の概。展鑑。概で展鑑が週の概。展鑑。概で展鑑が週の概。展鑑。概で展鑑が週の概。展鑑。概で展別で記載を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表	全国標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	票を理解できる。できる。できる。できる。 表記など)を理解し、説明できる。からの見解を述べることが 表記など)を理解し、的確 こ説明できる。からの見解を論理的に述べ 復習をすることでさらな 表記など)を理解し、説明できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 からの見解を述べることが 表記など)を理解し、的確		
☑ アクラ 授業計Ⅰ	画 3rdQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	授業内 ガイダ アジア アジア アジア アジア アジア アジア アジア アジア アジア アジ	容 の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい	()T(2) ()T(3) ()T(4) ()T(5) ()T(6) ()T(7) ()T(8) ()T(9) ()T(10) ()T(10)		週 講論作で作に作に作る 2る作で作に作に作んの目な概。 展鑑。 概で展鑑が週のをるの明のをるの明のをとり解のるのをるの明のをとり解のるのをるの明のをとり解めるのをるの明のをとり解めるのをるの明のをとり解して、 作作の定要を開賞しています。 はいまして、 作作の定要を開賞しています。 はいまして、 作作の定要を開賞しています。 はいまして、 作作の定要を開賞しています。 はいまして、 作作の定要を開賞しています。 はいまして、 作作の定要を開業しています。 はいまして、 作作の定要を開業しています。 はいまして、 作作の定理を対していません。 はいまして、 作作の定理を対していません。 はいまして、 作作の定理を対していません。 はいまして、 作作の定理を対していません。 はいまして、 作の定理を対していません。 はいまして、 作のでは、 はいまして、 作のでは、 はいまして、 はいまにはいまして、 はいまして、 はいまして、 はいまにはいまして、 はいまにはいまして、 はいまにはいまして、 はいまにはいまして、 はいまにはいまして、 はいまして、 はいまにはいまして、 はいまして、 はいまして	全目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	票を理解できる。できる。できる。できる。 表記など)を理解し、説明できる。いらの見解を述べることが 表記など)を理解し、的確 こ説明できる。いらの見解を論理的に述べ 復習をすることでさらな 表記など)を理解し、説明できる。 いらの見解を述べることが 表記など)を理解し、説明できる。		
☑ アクラ	画 3rdQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	授業内 ガイダ アジア アジア アジア アジア アジア アジア アジア アジア アジア アジ	容 つ文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい	()T(2) ()T(3) ()T(4) ()T(5) ()T(6) ()T(7) ()T(8) ()T(9) ()T(10) ()T(10)		週 講論作で作に作に作る 2る作で作に作んる 前端 講論 作で作に作い作品 作品 2名作で作に作い作品 3 の目な概。 展鑑。 概で展鑑が週の概。 展鑑。 概で展鑑が週の概。 展鑑。 概で展鑑が週の概。 展鑑が 機で展鑑が 週の 概。 展鑑が 授いるのをるの明のをとののをるの明のをとののをるの明のをとののをるの明のをとののをるの明のをといる。 といる はいました はいました にいる はいまい にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にい	全目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	票を理解できる。できる。できる。できる。 表記など)を理解し、説明できる。からの見解を述べることが 表記など)を理解し、的確 こ説明できる。からの見解を論理的に述べ 復習をすることでさらな 表記など)を理解し、説明できる。 からの見解を述べることが 表記など)を理解し、的確 できる。 からの見解を述べることが 表記など)を理解し、的確 こ説明できる。		
② アクラ 授業計画 そ で アクラ	画 3rdQ 4thQ	週   1週   2週   3週   4週   5週   6週   7週   13週   14週   15週   16週   14週   15週   16週   14週   16週   16    16₪   16෩	授業内 ガイダ アジア アジア アジア アジア アシア アシア アシア アシア アシア アシア	容 (の文学について	(NT(2) (NT(3) (NT(4) (NT(5) (NT(6) (NT(7) (NT(8) (NT(9) (NT(9) (NT(11) (NT(11) (NT(11)		週 講論作で作に作に作る 2る作で作に作んる 前端 講論 作で作に作い作品 作品 2名作で作に作い作品 3 の目な概。 展鑑。 概で展鑑が週の概。 展鑑。 概で展鑑が週の概。 展鑑。 概で展鑑が週の概。 展鑑が 機で展鑑が 週の 概。 展鑑が 授いるのをるの明のをとののをるの明のをとののをるの明のをとののをるの明のをとののをるの明のをといる。 といる はいました はいました にいる はいまい にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にい	全目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	票を理解できる。できる。できる。を記など)を理解し、説明できる。からの見解を述べることが表記など)を理解し、的確に説明できる。からの見解を論理的に述べ復習をすることでさらな表記など)を理解し、説明できる。からの見解を述べることが表記など)を理解し、的確に説明できる。からの見解を論理的に述べていてきらなる理解		
☑ アクラ 授業計員	画 3rdQ 4thQ	1週   1週   2週   3週   4週   5週   6週   7週   8週   11週   12週   13週   14週   15週   16週   1月   分野   十二   分野	授業内 ガイダ アジア アジア アジア アジア アシア アシア アシア アシア アシア アシア	容 の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい の文学につい	いて② いて③ いて④ いて⑤ いて⑥ いて⑥ いて⑥ いて⑦ いて⑥ いて のいて のいて のいて のいて のいて のいて のいて のいて のいて		週 講論作で作に作に作る 2る作で作作で作に作る 前の三との的のるのをるの明のをと7解のるのをるの明のをと7解のるのをるの明のをと7解のるのをるの明のをと7解のるのをるの明のをとの開賞している。 展鑑。 概で展鑑が週の概。 展鑑。 概で展鑑が週の概。 展鑑。 概で展鑑が授化をは、要き開賞でいまる。 概で展鑑が授化をは、要き開賞できまり、	全目標・利達目標・利達目標・利達用解・記域のでは、	票を理解できる。できる。できる。 表記など)を理解し、説明できる。からの見解を述べることが 表記など)を理解し、的確 こ説明できる。からの見解を論理的に述べ 復習をすることでさらな 表記など)を理解し、説明できる。 からの見解を述べることが 表記など)を理解し、的確 ご説明できる。 からの見解を連べることが 表記など)を理解し、的確 ご説明できる。 からの見解を論理的に述べ できる。 できる。 からの見解を述べることが 表記など)を理解し、的確 こ説明できる。 からの見解を論理的に述べ こ説明できる。		

				論理的な文章(論説 妥当性の判断を踏る	や評論)に表された まえて自分の意見を	- きまえに対して、そ を述べることができ	·の論拠の る。	3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。			3		
				常用漢字の音訓を〕	Eしく使える。主た	よ常用漢字が書ける	)	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。			3		
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。			3		
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。			3		
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。			3		
				報告・論文の目的に 情報を収集できる。		インターネットカ	ら適切な	3	
				収集した情報を分析	fし、目的に応じて	て整理できる。		3	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。			3		
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口 頭発表することができる。			3		
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。				3	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。			3		
				新たな発想や他者の するための手法をす		か、自分の思いや考	えを整理	3	
			影 汎用的技能	日本語と特定の外国	国語の文章を読み、	その内容を把握で	ぎる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で 正しい文章を記述できる。			3		
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。			3		
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。			3		
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。			3		
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相 づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。			3		
				他者の意見を聞き合意形成することができる。				3	
				合意形成のために会話を成立させることができる。				3	
分野横断的 能力	汎用的技能	汎用的技能		グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。				3	
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に 収集することができる。				3	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情 報を選択できる。				3	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要が あることを知っている。				3	
				目己貢仕か発生することを知つている。				3	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要で あることを知っている。			3		
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発 信(プレゼンテーション)できる。				3	
評価割合									
レポー		ト海	習課題					í	<b>合計</b>
総合評価割合	à 40	6	0	0	0	0	0	1	100
基礎的能力	40	6	0	0	0	0	0	1	100
専門的能力	0	0		0	0	0	0	C	)
分野横断的能力 0		0		0	0	0	0	C	)